



体育館に響くハーモニー『smile again』

10月30日（金）8：25ぴったりに始まった歌声タイム。この日は、11月12日の音楽発表会に向けた全校合唱の練習でした。曲目は「Smile again」。主旋律は1～4年生、副旋律（いわゆるハモリのパートです）は5・6年生による2部合唱です。

新型コロナウイルス感染症対策として、学年ごとに横の列で間隔をとって並んでいるために、6年生は、体育館のフロアの前から4分の3くらいのところに立っています。

1回目の練習では、この並びの影響が出てしまいました。音速は約340m/秒。指導の浅川先生には、いっごく堂ではありませんが、5・6年生の声が遅れて届いているのです。伴奏のピアノの音は30mくらい離れた5・6年生にはわずかに遅れて届き、それに合わせた歌声は30m先のステージに遅れて届くという状態。単純計算で約0.2秒遅れます。これは確かに気持ち悪い。これを修正させるために、『指揮者に合わせて！』の指示がありました。指示の後の歌声。4年生の横で聞いていた私には、ちょうどよい感じのハーモニーになって聞こえてきました。素晴らしい修正力です。

ほかにも、上級生の声をお手本として聞いての練習もあったため、この日の最後の合唱は、1回目からの進歩を感じることができるものでした。

1学期には、音楽の授業はほとんどできていないうえに、『密』を避けてということで、全校での練習も限られています。昨年までとはスケールダウンした形での発表会ですが、もう少しだけ、学年ごとに取り組みをします。6日には5・6年生が、敷北小の校長先生だった秋山先生の指導も受けました。

11月12日。音楽発表会の参観には制限がありますが、子どもたちの取り組みの成果を見ていただくと幸いです。

昔から『秋の日(陽)は釣瓶(つるべ)落とし』
と言われていました。秋になると日没時刻が早くなり、あっという間に暗くなってしまおうということ、釣瓶が井戸の中に勢いよく落ちていく様子にたとえた言葉です。12月には、日没時刻が午後4時32分になります。高い山が西側にあるこの辺りでは、もっと早く山に太陽が隠されます。



先日、集団下校時に、通学路ではない道を帰ろうとした班の1人がその道で転んでしまいました。近くの施設の人や通りかかった人から学校に連絡があり、職員が現場に向かいました。近道をしようとしたそうですが、付き添っていた子は、日暮れ近くの帰宅になってしまっていました。

通学路は『ここを歩いて子どもたちが登下校する』と確認されている道です。登下校において最良とされる道でもあります。登下校は決められた道を安全に通ることと、寄り道などしないで、下校することをご家庭で確認してください。学校においても指導を続けます。

このことでは、学校にすぐ連絡がいただくことができ、地域の方に見守られていることを有難く感じた出来事でもありました。

職員に関するお知らせ

～学校職員の紹介～

◆どんぐり学級の横森美香教諭の代替として、永井昇子教諭が12月4日まで勤務されます。5年生が2年生の時に、通算で10日ほどお世話になった先生です。よろしくお祈りします。

◆11月4日から12月4日まで、スクールサポートスタッフとして、原野奈央先生が、午後1時から勤務しています。授業準備の補助、校内の消毒作業、清掃や給食の片づけの補助にあたってくれます。

◆11月7日から19日まで、岡田茉莉花先生が教育実習として主に5年生と学習をしています。

北小のアイドル！

飼育小屋には4羽のウサギがいます。そのうち1羽は、8月下旬ごろ生まれた子ウサギです。4月以降、何度か子ウサギが生まれたのですが、うまく育つ（育てる）ことができずにいました。今回の子ウサギは、飼育当番の子が見つかり、安全のため2か月ほど親から離し、職員室内で育てました。

飼育当番は、毎日子ウサギの様子を見に来て、頭や体をなでたり、えさを与えたり、ケージの掃除をしたり一生懸命世話をしてきました。土日には、先生方が交代で家へ連れて帰り世話をしてきました。（かわいいウサギに癒されたかったのかも・・・）

少し大きくなってからは、1年生の教室の前にケージを移し、1年生もお世話をしました。

ウサギを抱きかかえて「かわいい♡」とつぶやく子や、柔らかい毛並みを撫でて「モフモフ」とつぶやく子もいて、愛情をこめて優しく接してもらって育ったウサギは、すっかり人に慣れています。「ヒト」を安全なもの、味方と認識しているのでしょうか。

今、委員会の活動として、ウサギとのふれあいを、中休みに学年毎実施しています。優しく接することの返事として、警戒しないで近寄ってくるウサギ。人に接する事と共通するものがそこにあるように思えます。



楽しい経験ができた林間学校

5年生は、11月4日・5日と、八ヶ岳少年自然の家を宿所に、林間学校に行ってきました。寒さが厳しくなり始めた時期でしたが、天気は最高。抜けるような青空のもとでの2日間でした。（ここからは、引率した先生方からの報告をもとに書きます）

1日目の絵図ハイク。グループごとに、絵図をもとにコースを進むハイキングです。7つの班すべてゴールにたどり着いたようですが、絵図にない道を進みそうになったということはいくつかの班であったようです。それも貴重な経験。

そして、夕飯はカレー作り。練習で作ったカレーをいただきましたが、なかなかの味でした。たぶん、2度目ということもあるし、おいしいカレーができたことでしょう。

ナイト追跡に出発している時間にお邪魔しましたが、寒さに負けず、暗さにも負けず、元気にスタートし、全員が無事ゴールしました。

2日目の冒険ハイクの暗夜行路では、声を掛け合ったり、互いを気づかいながらチャレンジする姿が見られてとても良い活動ができていたようです。

集団での生活では、お互いのために約束やルールを守ることが、日常生活で感じる以上に、その大切さがわかったのではないのでしょうか。

そして、全員が元気に帰ってくることができて本当に良かったと思います。

新型コロナウイルス感染者が、全国的に増加傾向にあります。山梨県では、11月3日から9日までの1週間で10万人当たりの感染者数が3.68人となっています。（決して少なくはない数です。）学校でもひきつづきの感染予防に取り組みますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

今後、暖房は使いますが、換気のために教室の気温がやや低くなることが予想されますので、暖かい服装で登校させるようにしてください

《感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い（山梨県HPより）》